

神奈川県腎臓病療養指導士の会

2025年度活動報告



神奈川県腎臓病療養指導士の会

2025年度当番世話人

太刀川美保（新百合ヶ丘総合病院 看護師）

愛甲美穂（湘南鎌倉病院 看護師）

黒田貴子（横浜みなと赤十字病院 管理栄養士）

稻垣和幸（横浜総合病院 薬剤師）

樋口愛（川崎市立多摩病院 看護師）

2025年度コアメンバー

コアメンバー	職種	所属施設
東山恵	看護師	聖マリアンナ医科大学病院
鈴木泰貴	看護師	横浜市立大学病院
早川しづか	看護師	北里大学病院
稻垣和幸	薬剤師	横浜総合病院
太刀川美保	看護師	新百合ヶ丘総合病院
柴田みち	管理栄養士	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
高橋雅子	看護師	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
黒田貴子	管理栄養士	横浜市立みなと赤十字病院
鈴木太	管理栄養士	東海大学医学部附属病院
坂根絢子	看護師	東海大学医学部附属病院
樋口愛	看護師	川崎市立多摩病院
萩原百合子	看護師	横浜じんせい病院
伊東崇仁	薬剤師	日本鋼管病院
不破朝子	看護師	藤沢市民病院

コアメンバー	職種	所属施設
長島真弓	看護師	済生会横浜東部病院
橋谷田恵子	看護師	森下記念病院
栗原雅代	薬剤師	横須賀共済病院
宇野洋司	管理栄養士	横浜市立大学附属市民総合医療センター
愛甲美穂	看護師	湘南鎌倉総合病院
児玉亜子	薬剤師	日本医科大学武蔵小杉病院
苗村裕美	看護師	日本医科大学武蔵小杉病院
野口文乃	看護師	北里大学病院
櫻井彩	薬剤師	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
菅祥江	看護師	虎ノ門病院分院
小畠美貴子	看護師	帝京大学医学部附属溝口病院
田中結美	看護師	関東労災病院
藤田麻理	看護師	小田原市立病院
新戸裕美子	薬剤師	川崎市立川崎病院
實方由美子	看護師	平塚共済病院

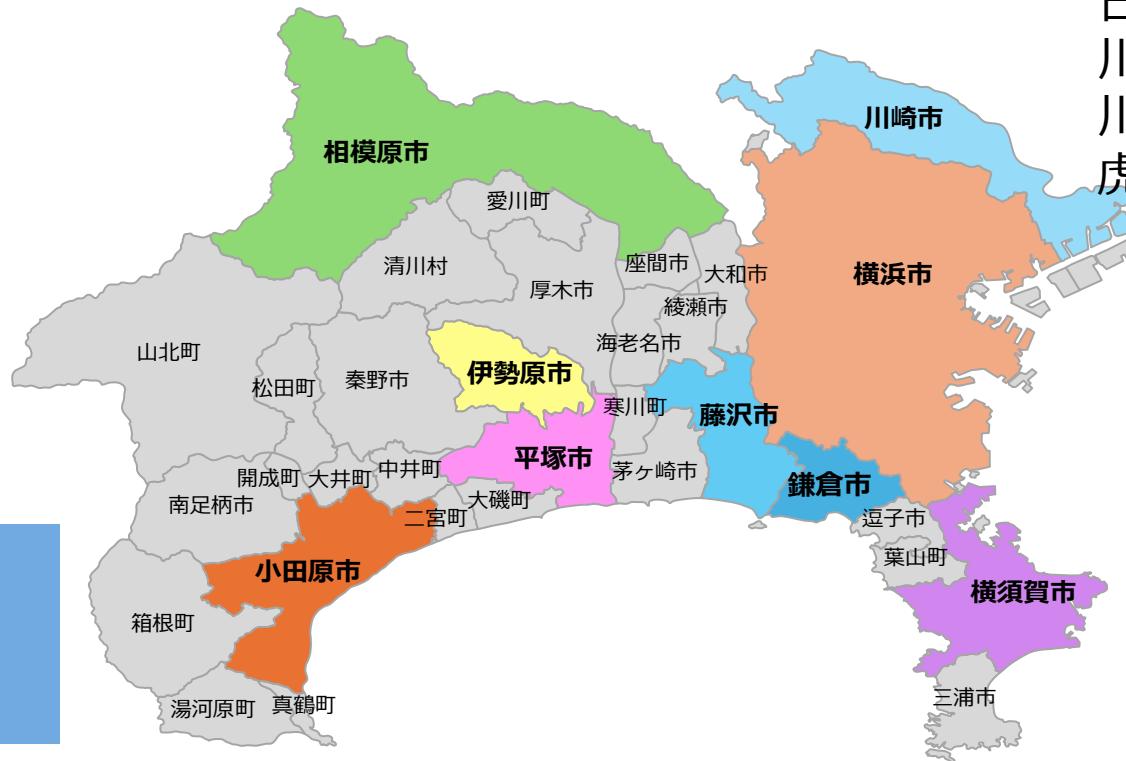
神奈川県腎臓病療養指導士の会

92名の会員が在籍

森下記念病院
北里大学病院
小田原市立病院
東海大学医学部附属病院
藤沢市民病院
湘南鎌倉病院
平塚共済病院
横須賀共済病院

コアメンバー在籍施設
24施設
2025年6月

聖マリアンナ医科大学病院
新百合ヶ丘総合病院
日本銅管病院
帝京溝口病院



腎臓病療養指導 2635名
神奈川県内 208名
2025年4月時点

関東労災病院
日本医科大学武藏小杉病院
川崎市立多摩病院
川崎市立川崎病院
虎ノ門病院分院

横浜市立みなと赤十字病院
横浜じんせい病院
横浜総合病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
済生会横浜東部病院
横浜市立大学附属病院

2025年度の活動内容

- 5月31日 第108回神奈川腎研究会 口演
- 7月 神奈川腎研究会ホームページへの掲載
- 9月13日 第19回CKDチーム医療研究会 口演
- 9月27-28日腎臓学会東部学術大会 口演
- 8月24日 第8回腎不全チーム医療協議会（Kicos）学術大会 口演
- 11月1日 会則制定
- 11月8日 第2回神奈川県腎臓病療養指導士の会 口演
- 11月29-30日 第28回日本腎不全看護学会学術集会・総会 口演
- 2026年1月 日本腎臓病協会機関誌「& Jin」対談 執筆
- 2026年3月7日 Cardio-Renal Alliance Forum 口演予定
- 2026年4月11日 かわやくセミナー 口演予定

第108回 神奈川腎研究会総会・研究集会

2025年5月31日

神奈川県総合医療会館 7階ホール

第108回神奈川腎研究会 総会・研究集会

日 時：2025年5月31日(土) 12:30～
会 場：神奈川県総合医療会館 7階ホール
横浜市中区富士見町3-1
TEL:045-241-7000

当番世話人：櫻田 勉（聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科）
丸井 祐二（碑文谷病院）

参 加 費 2,000円 (医師／企業関係者)
無料 (研修医／メディカルスタッフ)
年 会 費 3,000円 (医師／企業関係者)
無料 (研修医／メディカルスタッフ)

神奈川腎研究会

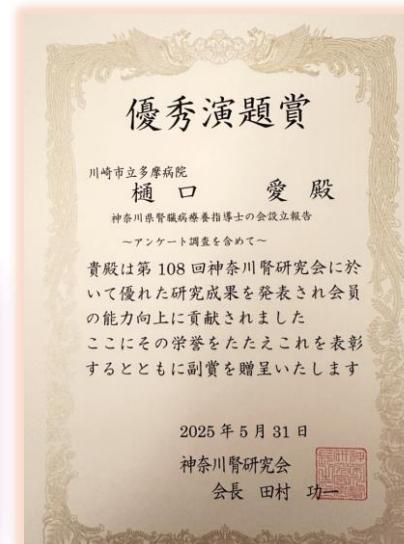
会長 田村 功一 事務局長 小林 竜
事務局：横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学
住所：〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
TEL：045-787-2633

メールアドレス：kanajin@yokohama-cu.ac.jp
URL：<http://kanagawajin-kenkyukai.com>

神奈川県腎臓病療養指導士の会設立報告～アンケート調査を含めて～
川崎市立多摩病院 樋口 愛



神奈川県腎臓病療養指導士の会の設立から
の活動と共に、コアメンバーに実施し
た「慢性腎臓病透析予防指導管理加算」
の算定状況に関するアンケート調査結果
の報告を発表



第8回 腎不全チーム医療協議会学術大会

http://www.kicos.jp) または右記のQRコードからお申し込みください。' (Registration has started! Visit the Kicos homepage (<http://www.kicos.jp>) or apply via the QR code below.) '日本腎不全看護学会 慢性腎臓病療養指導看護師 認定ポイント (3ポイント認定)' (Japan Chronic Kidney Disease Nursing Association Certified Points (3 points certified)). '問い合わせ先 Kicos(腎不全チーム医療協議会) Email: 2018kicos@gmail.com' (Contact: Kicos (Chronic Kidney Disease Team Medical Coordination), Email: 2018kicos@gmail.com)."/>

第8回 Kicos学術大会 プログラム 2025年8月24日 (日)

13:00-13:05 開会のあいさつ 東京都立大久保病院 仲宮 優子

13:05-14:25 一般演題 (発表10分質疑応答5分) 全体情報共有 15分
座長 JCHO仙台病院 看護部 副看護部長 伊藤 智恵子

演題1 【看護師】聖マリアンナ医科大学病院 看護部 横口 愛
演題2 【医師】JA長野厚生連 佐久医療センター 腎臓内科医長 大沢 純介
演題3 【管理栄養士】京都桂病院 栄養科長 池田 美美
演題4 【KRTC】北里大学病院 看護部 移植医療支援室 井村 夕姫
*KRTC:腎移植に関わるレシピエント移植コーディネーター

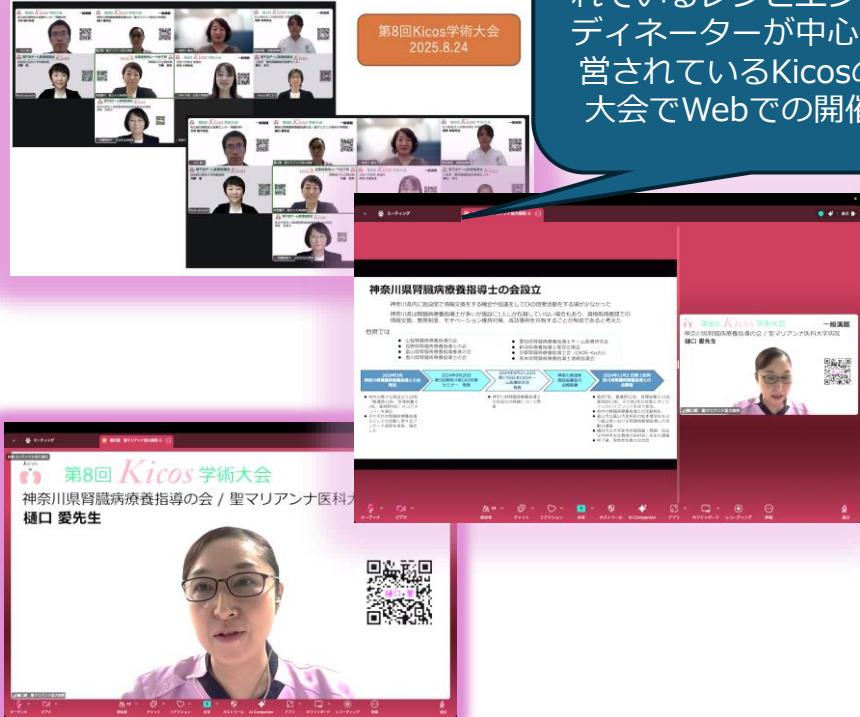
14:25-15:35 特別講演 座長 東京都立大久保病院 仲宮 優子
慢性腎臓病透析予防指導管理料について
熊本赤十字病院 腎臓内科部長 腎センター長
豊田 麻理子 先生

15:35-16:05 あなたの施設はどうしていますか?
投票機能を用いたアンケートで皆さんの施設の現状や悩み、工夫などを共有して
あなたの明日にいかしましょう!
司会進行 三思会 健性腎臓病総合医療センター 副センター長 野口 文乃
奈良県立医科大学附属病院 看護部 副看護部長 河野 恵

16:05-16:10 閉会のあいさつ 次回会長 JCHO仙台病院 看護部 副看護部長 伊藤 智恵子

*アンケートにご協力ください。
大会終了後のzoom画面にアンケートのQRコードが表示出ます。
大会運営向上のため感想やご意見をお聞かせください。

問い合わせ先 Kicos(腎不全チーム医療協議会) Email: 2018kicos@gmail.com



神奈川県腎臓病療養指導士の会事務局の野口文乃さんも参加されているレシピエント移植コーディネーターが中心となって運営されているKicosの会の学術大会でWebでの開催でした。

神奈川県腎臓病療養指導士の会 慢性腎臓病透析予防指導管理料算定に関するアンケート 調査報告

川崎市立多摩病院 (聖マリアンナ医科大学病院) 横口 愛

第18回 日本CKDチーム医療研究会

2025年9月13日・14日

砂防会館 別館 シェーンバッハ・サボー



神奈川県腎臓病療養指導士の会設立報告
～アンケート調査を含めて～
新百合ヶ丘総合病院 太刀川 美保



日本CKDチーム医療研究会へは、昨年度に継いで2回目の発表となりました。

第55回 日本腎臓学会東部学術大会

2025年9月27日・28日 パシフィコ横浜ノース

腎臓病療養指導士企画

各地域でのCKD診療における他職種連携の促進と活性化のための
腎臓病療養指導士をはじめとした様々な職種の活動

看護師の立場から

湘南鎌倉総合病院 看護師 愛甲美穂



CKDEの活動に関して、神奈川県腎臓病療養指導士の会の活動、湘南鎌倉病院での愛甲さんの力強い活動の発表がありました。



第2回 神奈川県腎臓病療養指導士の会

ハイブリッド開催

2025.11.8(土)14:00~16:05

会場 川崎市コンベンションホール「会議室1+2」
川崎市中原区小杉町2丁目276番地1 パークシティ武蔵小杉
ザ ガーデン タワーズイースト2階 TEL: 044-455-6340

オンライン視聴 https://boehringer.zoom.us/webinar/register/WN_v15vjRFQGy06J6DztaQ
イベント番号: 936 6568 9438 パスワード: 538140

QRコード

第2回 神奈川県 腎臓病療養指導士の会

開会の辞 14:00~14:05 櫻田 勉 先生 聖マリアンナ医科大学 脾臓・高血圧内科 教授

一般講演 14:05~15:05 (各15min)

座長 樋口 愛 先生 太刀川 美保 先生
川崎市立多摩病院 脾センター 三成会 新百合ヶ丘総合病院 看護部

演者 太刀川 美保 先生 三成会 新百合ヶ丘総合病院 看護部
慢性腎臓病透析予防指導管理料算定のアンケート調査結果
黒田 貴子 先生 横浜市立みと赤十字病院 栄養課 課長
腎臓病療養指導における現状と課題
福垣 和幸 先生 横浜総合病院 薬剤部 係長
薬剤師の立場からみたCKD療養支援の可能性
愛甲 美穂 先生 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 脾臓病総合医療センター 看護部
腎臓病療養指導における私たちの取り組み

特別講演 15:05~16:05 (各30min)

座長 櫻田 勉 先生 聖マリアンナ医科大学 脾臓・高血圧内科 教授

演者 土井 悅子 先生 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 栄養部 部長
**施設の垣根を超えたCKDEチーム結成と
地域特性に配慮したCKD重症化予防の取り組み**
要 伸也 先生 吉祥寺あさひ病院 副院長 / 杏林大学医学部 客員教授
今後の腎臓病療養指導士に期待すること

講演会の情報をソーシャルメディア等に投稿することはご遠慮ください。
ご入りいただきました個人情報は、本講演会の目的のみ使用いたします。

主催: 日本ペーリングーアイグルハイム株式会社
後援: 神奈川県/神奈川県薬剤師会/神奈川県栄養士会/神奈川県看護協会

2025年11月8日（土）川崎市コンベンションホール会議室1・2
現地+Webのハイブリッド開催



現地参加33名
Web参加29名
合計62名

第28回日本腎不全看護学会学術集会・総会

2025年11月29日・30日 神戸国際会議場



第28回 The 28th Annual Meeting of the Japan
Academy of Nephrology Nursing
日本腎不全看護学会
学術集会・総会
会期 2025年11月29日(土)～30日(日)
会場 神戸国際会議場
大会長 神谷 千鶴 関西看護医療大学
実行委員長 山本 裕美 医療法人社団藍蒼会
しもかどクリニック

神奈川県腎臓病療養指導士の会設立
新百合ヶ丘総合病院 太刀川 美保

～アンケート調査を含めて～

発表後、他県の多職種連携
に悩む看護師の方より相談
を受けました。



日本腎臓病協会機関誌 & Jin 1月 掲載

横浜みなと赤十字病院 管理栄養士 黒田 貴子

療養指導最前線 インタビュー 腎臓病療養指導士の資格を日常診療に活かしている医療者にフォーカス

CKDE取得で「点」から「線」へ 深化した多職種連携と地域連携

黒田 貴子 氏(管理栄養士) 横浜市立みなと赤十字病院 実践課 栄養課長
CKDE / NST専門准士

取材:土井 悅子(管理栄養士) 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 栄養部/CKDE

看護医制度を活用した外来栄養食事指導

横浜市立みなと赤十字病院は、横浜市中都を支える医療の中核拠点として救急救命から災害救護まで幅広い急性期病院です。当院の腎臓内科は医師の名体体制で、内科的疾患の早期から進行した段階まで統合的に治療しています(2024年度患者数:入院432人、外来7,444人)。基本的に紹介患者さんが中心で、ステージG4以上の患者さんは中心に病棟で将るという連携体制を構築しています。血液透析、腹膜透析のアクセス作成(置換)ほか、5日前から身体移動を開拓しました。腎代替療法選択外来があるのも特徴の一つです。

腎臓内科における外来栄養食事指導は月に約60件、半分がステージG4、G5で、約7割が男性、半数が70代以上です。ステージが進行した患者さんなど、食事療法の難易度が高いため、経験豊富な管理栄養士が担当するなど、個々の状態に応じた対応を行っています。

図1: 各種医に対する外来栄養食事指導の案内

外来栄養食事指導の流れ

- ①「診療部門別連絡票」をFAXまたは郵送
- ②「診療部門別連絡票(栄養指導依頼書)」をFAXまたは郵送
- ③ 当院栄養士さんと連絡を取り、指導約日時決定
- ④栄養指導実施、報告書を先生方にFAX・FAX

1.日: ①・各医の食事内容確認、脂肪の量づき
②・行前目標設定(生活の質を落とさず)

2.日: ①・現状、目標達成度の評価

3.日: ①・長期にわたり、実施していくことが可能か検討

横浜市立みなと赤十字病院

住 所: 神奈川県横浜市中区新山下3-12-1
設 立: 2005年
病 段: 624床(一般584床、精神40床)
診療科: 36科
医 療: 透析ベッド数
透析導入患者数
腎臓病研究会員数
会員年数

療養指導最前線 インタビュー 腎臓病療養指導士の資格を日常診療に活かしている医療者にフォーカス

CKDE取得で「点」から「線」へ 深化した多職種連携と地域連携

黒田 貴子 氏(管理栄養士) 横浜市立みなと赤十字病院 実践課 栄養課長
CKDE / NST専門准士

取材:土井 悅子(管理栄養士) 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 栄養部/CKDE

看護医制度を活用した外来栄養食事指導

横浜市立みなと赤十字病院は、横浜市中都を支える医療の中核拠点として救急救命から災害救護まで幅広い急性期病院です。当院の腎臓内科は医師の名体体制で、内科的疾患の早期から進行した段階まで統合的に治療しています(2024年度患者数:入院432人、外来7,444人)。基本的に紹介患者さんが中心で、ステージG4以上の患者さんは中心に病棟で将るという連携体制を構築しています。血液透析、腹膜透析のアクセス作成(置換)ほか、5日前から身体移動を開拓しました。腎代替療法選択外来があるのも特徴の一つです。

腎臓内科における外来栄養食事指導は月に約60件、半分がステージG4、G5で、約7割が男性、半数が70代以上です。ステージが進行した患者さんなど、食事療法の難易度が高いため、経験豊富な管理栄養士が担当するなど、個々の状態に応じた対応を行っています。

図1: 各種医に対する外来栄養食事指導の案内

外来栄養食事指導の流れ

- ①「診療部門別連絡票」をFAXまたは郵送
- ②「診療部門別連絡票(栄養指導依頼書)」をFAXまたは郵送
- ③ 当院栄養士さんと連絡を取り、指導約日時決定
- ④栄養指導実施、報告書を先生方にFAX・FAX

1.日: ①・各医の食事内容確認、脂肪の量づき
②・行前目標設定(生活の質を落とさず)

2.日: ①・現状、目標達成度の評価

3.日: ①・長期にわたり、実施していくことが可能か検討

横浜市立みなと赤十字病院

住 所: 神奈川県横浜市中区新山下3-12-1
設 立: 2005年
病 段: 624床(一般584床、精神40床)
診療科: 36科
医 療: 透析ベッド数
透析導入患者数
腎臓病研究会員数
会員年数

カクフアレンスと病院食の試食で連携を深める

看護指導室は、腎臓内科の診察室と看護部の面談室の間にあり、電子カルテの端末も置かれているため、とても連携しやすい環境です。当日の検査データから、急速、指導依頼が入ることもあり、食事に関する困り事にタイムリーに介入しています。

7年前からは腎臓チームが発足し、毎月、多職種カンファレンスが開催されています。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、MSW、事務職員(腎臓内科受付含む)が参加し、振り返り症例の共有をするほか、低たんぱく食などの病院食を試食してもらう場を設けたこともあります。医師をはじめ職員からは「減塩食でもちゃんと味を感じるね!」低たんぱく食を初めて食べた」という声も聞かれ、理解を深める良い機会になったとの評価をいただきました。

●

仲間を増やし、地域に広げるCKD啓発へ

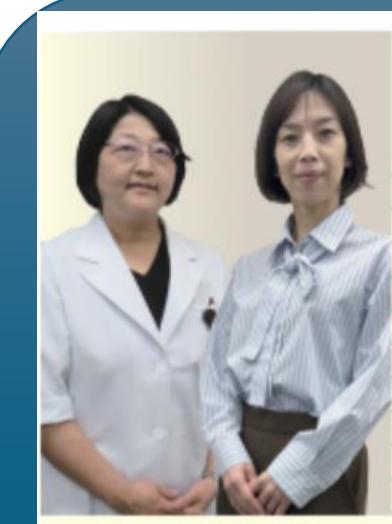
神奈川県腎臓病療養指導士の会は、7年前に発足したまだ新しい組織で、現在、本格的な活動にて準備を進めている段階です。コアメンバーとして参加し、会員数としては他集団よりも看護師さんや薬剤師さんなど情報共有できる機会も増えました。外部のCKD会との交流を通して、他院でのブリッジツールを用いた講演体制など取り組みを知り、他院でも取りやすいう機会となっていました。

神奈川県のCKDEに占める看護師はまだ約20%位でないため、今後更に仲間を増やし、施設の垣根を超えた横のつながりや行政との連携、職種横断的な関係性を強化したいと思っていました。地域での啓発活動の貢献も注力したいことです。CKDステージがかなり進行してから病院に来られるケースがあり、患者さんから「もう早く話を聞きたいのです」と言われる事こそ少なくありません。CKDの啓発活動、早期発見・重症化予防のため、まずは自腹役において、登録料の先生に向かってセミナー・地域住民の腎臓病教育などに積極的に関わっていきたいと考えています。今後も、多職種が手を組んで、外に向けてCKDとして活躍する場が増えることを期待しています。

インビューブを終えて

患者さんの生活習慣病で腎臓病になり、多職種のツールを駆使して個々に合わせた個々の属性の高い支援を実践されていることが印象でした。CKDの強さである多職種の専門性を理解した上で連携を内外に広げ、CKD不全のクリニックの活性化や地域住民の腎臓病教育を利用しやすい環境づくりを意識しておられる点は、当院でもぜひ参考にしてもらいました。

取材日: 2023年1月6日



第2回神奈川県腎臓病療養指導士の会でご講演頂いた土井悦子先生との管理栄養士対談が実現